

種を植えたら赤い大根ができました！

6月中旬のある日、みどりぐみに種が届きました。このときはまだ何の種かわかりませんでしたが、土に埋めて育ててみることにしました。

土に埋めてから3日後、もう芽が出てきました。もっと大きくなるのかな？そしたら何になるのかな？と予想が膨らみます。

茶色くて小さい！

大きくなってる！

いちごかな？

たんぽぽじゃない？

お花が咲くんじゃない？

みかんだと思う！

少しずつ葉が育ってくると、葉にたくさんの穴があくようになりました。中には茎だけになってしまうものも…。よく見てみると青虫が葉っぱを食べていました。「せっかくわたし達が育ててるんだから、食べないで！」と、青虫取りが始まりました。

手に袋をつけて青虫を取っています
(うまく取れることもあれば潰れてしまうこともありました)



袋に水を入れて、青虫を流そうとしています



取れた青虫は虫かごに入れて
集めていました

ままごとで作ったご飯を持ってきて、「お腹空いてるんじゃない？」「こっちなら食べてもいいよ」と青虫に見せている子もいました。青虫もお腹が空いているだろうからと別のご飯を差し出す発想が面白いですね。

茎の下に赤い実ができると、「トマトになった！」「え？違うよ！」とトマトかどうか気になる様子。「じゃあ、トマトかどうか食べてみよう！」と収穫後に輪切りにして塩をかけ、お弁当の時間に食べてみました。



友達や先生と食べたり話したりしているうちに、これは赤い大根（ラディッシュ）だという話になりました。おいしい物だとわかると、「今日はおかわりあるかな？」と収穫を楽しみにしている子ども達でした。

《赤い大根の収穫後、きぐみさんからじゃがいもをもらった時のこと》

幼児「先生、おいもってね、土から出てくるんだよ」
先生「へえ、そうなんだ。おいもが土から出てくるところ、見たことあるの？」
幼児「うん！こっちにきて！」
おいもの話をしていたのに、なぜかラディッシュのプランターの前に先生を連れてくると…
幼児「見て！『まめ』を植えたら『りんご』になったでしょ？だから、おいももおんなじくなるんだよ！」

